

まちの日記帳



美国中1年生20人が雑巾持参で清掃奉仕活動 総合文化センターで窓拭き

2/20

美国中学校の1年生20人が総合学習のボランティア活動で総合文化センターの窓拭きの清掃奉仕活動を行いました。

「厳しい財政状況である積丹町に何か手助けができることがないか」と生徒の中で発案され、中学校と町の企画課で調整した結果、清掃奉仕活動が実現しました。

生徒たちはジャージ姿で来館し、文化センターの多目的室、図書コーナー、会議室の計8室の窓ガラスや廊下の窓ガラスを持参した雑巾で丁寧に磨き始めました。自分の身長を上回る大きな窓ガラス約100枚を2時間かけて磨き上げ、くすんでいた窓ガラスがみるみるうちに輝きはじめました。



婦美婦人防火クラブ勉強会 — 救命講習会を実施 —

2/22

婦美婦人防火クラブ（福井千代子会長）は、積丹消防の職員を講師に招き救命講習会を婦美会館で行いました。

はじめに消防職員から、救急車の出動状況と適切な利用方法や応急処置に関する講義を受けた後、実際にダミー人形を使用しての心肺蘇生法を実践しました。また、AED（自動体外式除細動器）の取り扱いについても講習を受け、参加者は「いざというときは落ち着いて対応できるようになりたい」、「うちの主人にも心肺蘇生法を教えて欲しい」などの意見や感想が寄せられ、真剣に取り組んでいました。



空きカンや身近なもので人形 — 人形劇鑑賞が開催されました —

2/25

子育て支援センター主催の「人形劇鑑賞会」がびくに保育所ホールで行われ、支援センター利用者の親子、びくに保育所、みなと保育所の園児たち総勢59名が参加しました。

人形劇団「クレヨンカンパニー」では、空きカンなど身近にあるものを利用して作った人形を使った劇や影絵を見せてくれました。演目ひとつひとつに笑いや、応援のメッセージが込められ、多彩な表現に子どもたちは夢中になる姿が見られ、園内はたのしいひとときを過ごしていました。



練習の成果をお披露目 きさらぎ会、今年も「おさらい会」

3/7

きさらぎ会（河岸栄子代表）が主催する「おさらい会」が町総合文化センターで行われました。

きさらぎ会が誕生して以来、毎年この時期になると「おさらい会」が開かれ、今回で17回目を迎えました。週1回定期的に練習が行なわれ、いよいよ練習の成果を発揮する日を迎えました。色鮮やかな和服の衣装で日本舞踊をはじめとした踊りがメインに披露され、中盤には大正琴が演奏されました。「パラが咲いた」、「知床旅情」のメロディーが流れると、懐かしい曲に観客席から思わず口ずさんだ声が会場内に広がっていました。



勝利ヘスマッシュ スリッパ卓球ではマイスリッパを持参

3/8

町卓球協会（奈良清一会長）主催による第18回町内卓球大会がB&G海洋センターで行われ、32名の参加者により熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。（各部優勝者のみ）

- ◆ 小学校1～3年混合 杉野 弘幸くん（日司町）
- ◆ 小学校4～6年混合 工藤 大陸くん（日司町）
- ◆ 中学校1～3年混合 原 悠くん（美国町）
- ◆ 一般ピンポン混合 原 悠くん（美国町）
- ◆ 一般スリッパ混合ダブルス 三上・成田ペア



平尾光一郎さん 優良青年技能者表彰を受賞 —もの作り、次の世代へ—

3/8

第41回後志管内技能者研修大会が岩内地方文化センターで開催され、優良青年技能者として、平尾光一郎さん（古平町）が後志地方技能尊重運動推進協議会長表彰を受賞しました。これは、技能者の社会的地位や技能水準の向上、地域産業の振興に尽力された方々を表彰するもので、今年度は後志支庁長表彰3人、後志地方技能尊重運動推進協議会長表彰9人の計12人に表彰状が伝達されました。平尾さんは、積丹町技能士会の会員で構造物鉄工作業の技能の優秀性を高く評価され、技能奉仕活動にも積極的に参加協力するなど同会の後継者の一人として活躍されています。

この受賞を心からお祝いするとともに今後の更なるご活躍を期待いたします。

